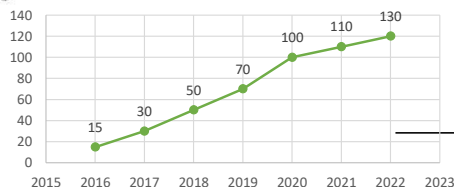
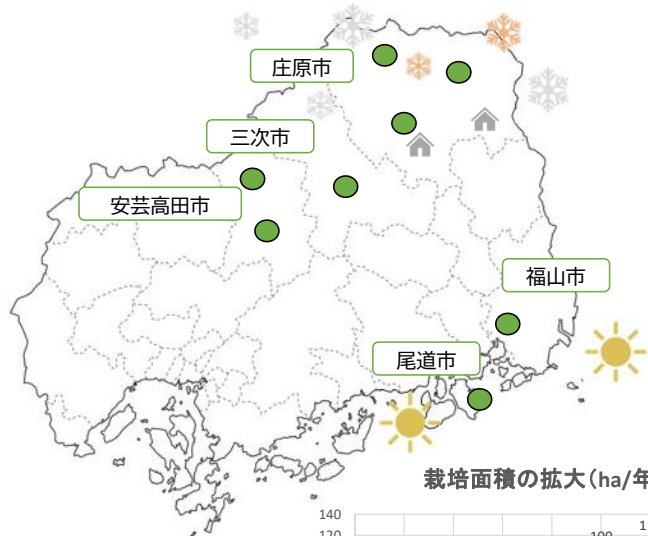


# スマート農業技術を活用した 青刈りとうもろこし生産の実 践について

株式会社vegeta  
谷口 浩一



## 株式会社vegeta について



- ・本社は庄原市東城町
- ・畑は尾道市因島（標高0m）から、庄原市東城町小奴可（標高約800m）まで



- ・標高差を利用した気候の差で、主にキャベツの年間リレー出荷を可能にしています
- ・総面積は130ha以上。さらに拡大中！
- ・令和元年に国のキャベツ栽培に関するスマート農業実証事業を実施

# 飼料作物栽培に取り組んだ経緯

## 畜産農家の課題

コロナ禍、地球温暖化、国際紛争等による  
飼料価格の急激な高騰

酪農家の経営を圧迫

栽培に必要な農業機械、労働力がなく、  
自給飼料の生産に新規で取り組むのは難しい

飼料用とうもろこしの  
栽培提案



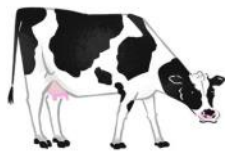
## vegetaの課題

連作障害による  
キャバツの収量低下

輪作可能な品目、また地力強化のための  
有機堆肥を探していた

今までに栽培していなかった時期の  
栽培・販売で収益向上を目指したい

ネコブ  
病



ロールバールによる  
サイレージ



有機堆肥



地域内資源循環により安定した経営を図る

# 畜産生産力・生産体制強化対策事業の利用 (2022年)

汎用型微細断飼料収穫機

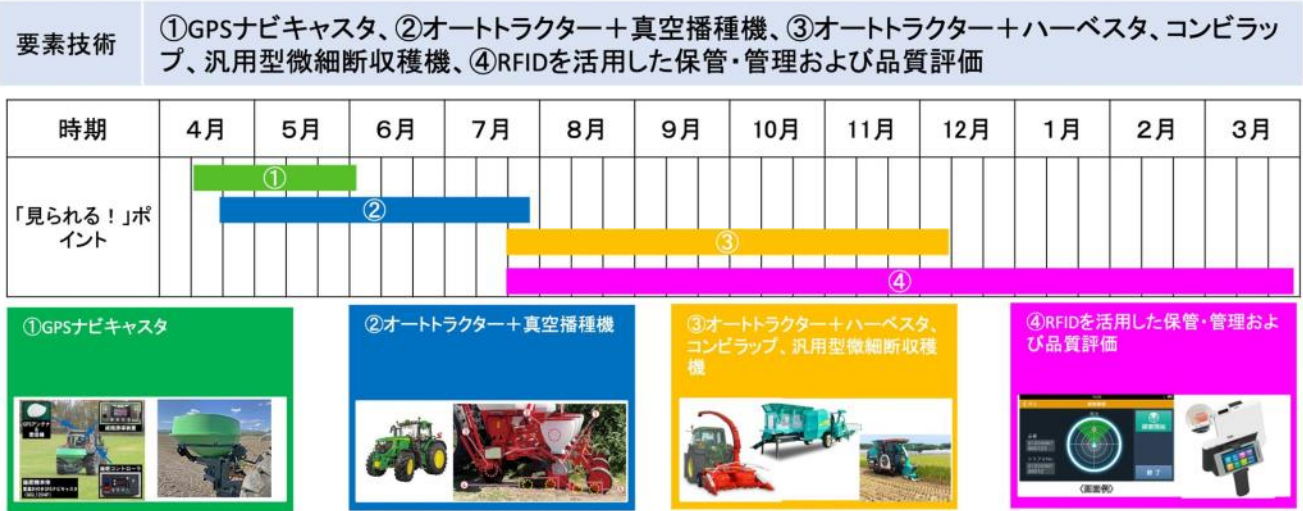


自走ラッピングマシン



# スマート化・品質向上を目指して（2023年）

## 【実証する技術体系の概要】



5

# スマート農業の実証（2023年収穫～管理）



- ハーベスター付きオートトラクターでの収穫
- コンビラップでの調整

RFIDタグ

6

# 栽培について

## 2022年

- ・栽培面積: 約35ha
- ・天候にも恵まれ生育は良好であった
- ・しかし、栽培期間後半に2度台風があり、一部の地域で収穫量が大幅に減少した
- ・成分分析の結果、品質は良好であったが、運搬中にロールの破損が一部発生したことが課題(2次発酵)

## 次年度目標

- ・栽培面積は**増加予定**
- ・**獣害対策をしっかりと検討**
- ・地域によって、その土地と気候に合う**デントコーン以外の飼料作物の栽培**も検討中



## 2023年

- ・栽培面積: 約35ha
- ・播種時期(4~6月)に雨の日が多く、播種作業が計画通り進まなかった
- ・今年度も生育は良好であったが、クマやシカの獣害があったため収穫量の少ない地域があった(庄原市高野町など)



# ありがとうございました

| <https://www.vegeta-farm.com/>

vegetacabbage



@hiroshimacabbage

